

農芸同窓会会報

編集・発行
三重県立四日市農芸高校
同窓会事務局
〒510-0874
四日市市河原田町2847
TEL 059-345-5021
FAX 059-345-6996

母校の躍進を称える

同窓会会長 大泉 源之
(河高第五回・昭和二十八年卒)



会員の皆様にはお元気で過ごされたいとお喜び申し上げます。平素は本校の運営、活動に温かいご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

今年経済は、多少安定の方向を示しましたが気象的には異常でありました。竜巻が各

地で発生し、夏に記録的に高温が続き、遅く台風が発生し、自然災害の多い年となりました。これは世界的に温暖化現象が一因であって今後も気象的な異常が予測されます。

さて母校ですが、農業学科、家庭学科共に高度な技能取得に挑戦し、クラブ活動の研究発表会では県内外において優秀賞を常に獲得して頑張っています。

一方地域貢献活動では、生活文化科の学生は地域の有志グループに出掛け料理教室を開いて好評を得ています。三重県北勢地方で多く採れる竹の子を使った菓子が作れるいかと専門の菓子店に持ちかけ商品化に成功したこと、このことは地産地消の活用としては重要なことで、取組んだ学年の日頃の関心、又、積極性を高く評価したいと感じました。

クラブ活動としては、文化部の放送部は優秀であり、また吹奏楽部は地域のイベントに出演し活躍しています。運動クラブでは、クラブの数も増えて三重県を代表する選手も出て充実しています。ここでスポーツ分野で特筆することがありますので紹介しま

多様な活動を通じた人材育成

校長 竹森 淳二



寒気さびしき折柄、あわただしい師走となり、何かとご多用のことと存じます。

日頃は、本校教育活動に対して物心両面にわたる心からのご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

今年は7年後のオリンピックの開催地が東京に決まり、話題となる流行語がたくさん生まれ、景気も含めて好転の兆しを感じさせる勢いのある年となりました。農芸高校にとりましても、農芸生が様々な活躍を見せてくれ、実りの多い年でした。近年、特に感じることは、生徒の活躍の範囲が特定の活動やクラブにとどまらず、広範囲にわたって

いるということです。

農業学科にあつては、フーアレレンジメントコンテストや情報処理競技において、県代表として全国大会に出場したり、県教育委員会の「三志」と「匠」の育成推進事業」の指定を受けたが、二年目にして造園部門で全国技能五輪大会に三名の生徒が出場するところまで成長してくれました。従来から取り組んできたマコモタケの普及活動では、付加価値を高め、長期保存、長期利用できる方法として、レトルトカレーの具材としての利用を考え、商品化して販売しています。また、東山動物園との連携、名古屋産業大学との連携、地域の企業や様々なNPOとの連携も進め、多くの方々のお世話にな

がていながら、その活動範囲を広げています。

家庭学科におきましても

「みえ旅おもてなし弁当創作展」や「おさかな料理コンクール」での入賞、きもの作品コンクールでの近畿経済産業局長賞等の受賞がありました。また、桑名の和菓子屋さんから技術指導を受けた縁で、桑名菓業協会（からくさかい）との共同商品開発の話をした

だき、生徒の考案したパイ菓子と饅頭が桑名の和菓子屋さんで販売されています。食文化の継承にも取り組み、地元の方から郷土料理を学ぶ取り組みも行っています。

クラブ活動におきましても放送部は全国大会出場校として常連化しており、吹奏楽部は地元で愛される楽団へと育っています。演劇部はいつも感動を呼ぶ作品を発表してくれ、ダンス同好会や茶道部、華道部なども非常に人気があります。

運動部においてはラグビー部が全国選抜大会に、バスケット男子、バレー女子、ゴルフ、卓球男子の各部が東海大会出場を果たしてくれました。また、クラブとしては学

農業及び家庭学科の主な学習成果から

(平成24年11月～25年11月)

【農業学科】

〔東山植物園洋風庭園デザインコンペ〕
成24年度
優秀賞 造園技術コース
(平成24年度)

2級造園工事
知事賞 3年 黒宮良太

3級造園工事
知事賞 2年 小林 望

3級室内装飾
知事賞 3年 湯浅夏実

3級フラワー装飾
知事賞 3年 久保田有香

〔平成24年度造園デザインコンクール〕
第38回全国造園デザインコンクール
奨学賞 3年 高橋 涼

高等学校生徒造園デザインコンクール
知事賞 3年 黒宮良太

教育賞 3年 原 弘樹

〔平成24年度農業クラブプロジェクト発表三重県大会〕
最優秀賞 販売情報コース「マコモタケ栽培の研究第Ⅱ報」(東海大会出場)

最優秀賞 食品科学コース「食を通じて人をつなぐまじくくり」(東海大会出場)

優秀賞 自然環境コース「守れ！希少植物、アイナシの繁殖第2報」

〔危険物取扱者資格(平成24年度分)〕
甲種取得 3年 中野翔太

乙種全種取得 3年 田中沙耶、門脇光平、森 優奈、岡坂綾乃

〔平成25年度全国産業教育フェアフラーアレレンジメントコンテスト三重県予選〕
最優秀賞 生川令菜(全国産業教育フェア出場)

〔平成25年度農業クラブ情報処理競技三重県大会〕
優秀賞 2年 大松澤佳奈(全国大会出場)

〔平成25年度農業クラブ意見発表三重県大会〕
優秀賞(食料・生産) 2年 坂本侑輝

優秀賞(環境) 3年 橋本隆成

優秀賞(文化・生活) 2年 黒田理紗

優秀賞(文化・生活) 3年 岡本奈々

〔平成25年度農業クラブプロジェクト発表会 東海ブロック大会〕
優秀賞(食料・生産) 販売情報コース「マコモタケ栽培の研究第Ⅱ報」

優秀賞(文化・生活) 食品科学コース「食を通じて人をつなぐまじくくり」

〔食を通じて人をつなぐまじくくり〕

〔食を通じて人をつなぐまじくくり〕

〔食を通じて人をつなぐまじくくり〕

〔食を通じて人をつなぐまじくくり〕

〔食を通じて人をつなぐまじくくり〕

〔食を通じて人をつなぐまじくくり〕

〔食を通じて人をつなぐまじくくり〕

〔平成25年度第64回日本学校農業クラブ全国大会(首都圏大会)〕
情報処理競技 優秀賞
2年 大松澤佳奈

農業鑑定競技 優秀賞(区分・造園)
3年 長田航大

優秀賞(区分・造園) 3年 杉野貴哉

〔平成25年度第41回毎日農業記録賞(毎日新聞社主催、農林水産省他後援 J A 全中など協賛)〕
高校生部門 地区入賞 2年 坂本侑輝

造園競技出場
3年 岡田 侑、金光圭佑、小林進哉

〔第51回技能五輪全国大会〕
造園競技出場

3年 岡田 侑、金光圭佑、小林進哉

〔平成25年度第64回日本学校農業クラブ全国大会(首都圏大会)〕
情報処理競技 優秀賞
2年 大松澤佳奈

農業鑑定競技 優秀賞(区分・造園)
3年 長田航大

優秀賞(区分・造園) 3年 杉野貴哉

〔平成25年度第41回毎日農業記録賞(毎日新聞社主催、農林水産省他後援 J A 全中など協賛)〕
高校生部門 地区入賞 2年 坂本侑輝

造園競技出場
3年 岡田 侑、金光圭佑、小林進哉

〔第51回技能五輪全国大会〕
造園競技出場

3年 岡田 侑、金光圭佑、小林進哉

〔平成25年度第64回日本学校農業クラブ全国大会(首都圏大会)〕
情報処理競技 優秀賞
2年 大松澤佳奈

農業鑑定競技 優秀賞(区分・造園)
3年 長田航大

優秀賞(区分・造園) 3年 杉野貴哉

〔平成25年度第41回毎日農業記録賞(毎日新聞社主催、農林水産省他後援 J A 全中など協賛)〕
高校生部門 地区入賞 2年 坂本侑輝

造園競技出場
3年 岡田 侑、金光圭佑、小林進哉

〔第51回技能五輪全国大会〕
造園競技出場

3年 岡田 侑、金光圭佑、小林進哉

〔平成25年度第64回日本学校農業クラブ全国大会(首都圏大会)〕
情報処理競技 優秀賞
2年 大松澤佳奈

農業鑑定競技 優秀賞(区分・造園)
3年 長田航大

優秀賞(区分・造園) 3年 杉野貴哉

〔平成25年度第41回毎日農業記録賞(毎日新聞社主催、農林水産省他後援 J A 全中など協賛)〕
高校生部門 地区入賞 2年 坂本侑輝

造園競技出場
3年 岡田 侑、金光圭佑、小林進哉

〔第51回技能五輪全国大会〕
造園競技出場

3年 岡田 侑、金光圭佑、小林進哉

〔平成25年度第64回日本学校農業クラブ全国大会(首都圏大会)〕
情報処理競技 優秀賞
2年 大松澤佳奈



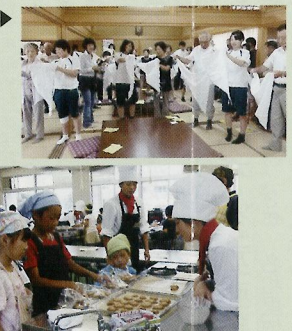
▲地域のひと々と特産のマコモの田植え(販売情報コース)



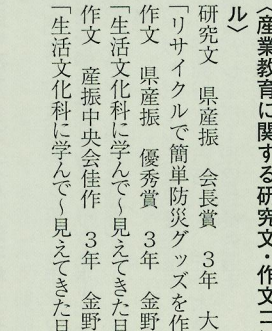
▲地域の人々と特産のマコモの田植え(販売情報コース)



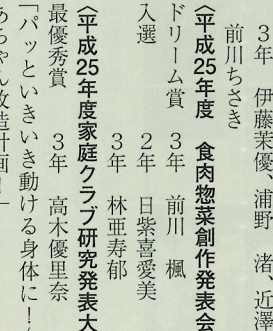
▲第24回きもの作品コンテスト 優秀賞受賞の杉浦(右)と浦野(服飾経営コース) 中日新聞提供



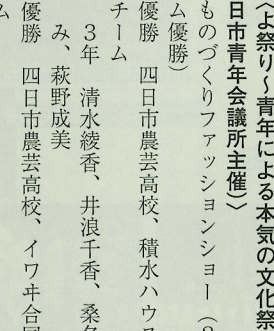
▲小学生にお菓子作りを指導(食物経営コース、製菓衛生コース)



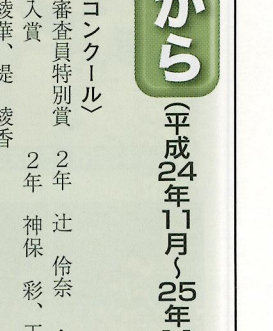
▲地域の人々と特産のマコモの田植え(販売情報コース)



▲地域の人々と特産のマコモの田植え(販売情報コース)



▲地域の人々と特産のマコモの田植え(販売情報コース)



▲地域の人々と特産のマコモの田植え(販売情報コース)

同窓会のご報告

(高校第十二回・昭和三十五年卒)

谷沢 恒夫

私たちが四日市農芸高校第12期卒業生は、昭和35年の春に卒業してから実に53年が経過しました。当時の母校は「一般農業科」「園芸科」「畜産科」「家庭科」の一学年185名の生徒数でした。卒業生は農家の長男がほとんどで親の後を継ぐという人が大半でした。その後高度成長期となり、その反動にて転職する人が増え、私も自動車企業に転職しながら兼業農家となっておりました。そして定年後は、自治会活動、農業関係、寺・神社等の地域活動に邁進している現在です。私の記憶では、3年位おきに七〇八回同窓会が行われ、今回は平成25年2月23日、24

還暦同窓会のご報告

(高校第二十三回・昭和四十六年卒)

清水 正美



私は大阪で万国博覧会が開催された昭和46年に四日市農芸高校を卒業しました。今回は還暦記念同窓会として皆様をお誘いしました。私たちはA組農業科、B組園芸科、C組畜産科、D組農産製造科、E・F組は家庭科で6組256名の同窓生でした。そして私は園芸科で柔道部でした。園芸科は自営の後継者が多く、現在もその大半が農業自営しています。私の茶業も少しずつ規模拡大し現在に至っています。各クラスより2名の幹事に集まってもらい、6回程の幹事会で開催要領を計画しまし

校の更なる飛躍をお祈り申し上げます。報告とさせていただきます。(幹事代表)



昭和35年卒業同窓会 H25.2.23 於 湯の山温泉希望荘



昭和46年卒業同窓会 H24.12.2 於 四日市都ホテル

ご挨拶

(高校第十五回・昭和三十八年卒)

上杉 弘文



同窓会会員の皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。今月の初め、同窓会事務局より本年一月「四日市市産業功労者」表彰の披露を会報でとお話がありました。大変ありがたううれしく思っています。私は昭和十九年、農家の三兄弟の長男として生れ将来は家業を継ぐ運命にありました。「百姓の子に学問はいらん」と祖父の言う中、父は「これからの農業はちゃんとした知識が必要」と生活の苦しい中を母校に入学させてくれました。母校での高校生活は充実した三年で、将来それぞれの農業を目指す同級生にも出逢い、そして柔道部に入学し「黒帯」を締めることも出来ました。高校を卒業した頃各地域で青年団が地域社会で活動して

しい時間を過ごすことにより、私自身大変刺激を受けました。残りの人生、がんばり輝いている同窓生に負けない様に生きていこうと思います。以上還暦同窓会の報告とさせていただきます。

四日市市産業功労者表彰

上杉 弘文様

(高校第十五回・昭和三十八年園芸科卒業)
(元PTA会長)
(現JIAみえきた「四季彩」運営委員会副委員長)
(貝家町自治会会長)

商業や農業などで功績があつた方から選ばれる四日市市の産業功労者として表彰されました。おめでとございます。

最近の部活動等における主な実績

(平成24年11月～25年11月)

- 【全国大会】
 - ☆第14回全国高校選抜ラグビー大会
☆ラグビー部 2年 角矢まどか(3回出場)
 - ☆平成25年度全国高校総体体育大会
☆空手道競技女子個人組手 出場
2年 角矢まどか
 - ☆第68回国民体育大会
☆空手道競技女子個人組手 出場
2年 角矢まどか
 - ☆第60回NHK杯全国高校放送コンテスト
☆アナウンス部門 出場 3年 山鹿春奈
- 【東海大会】
 - ☆平成24年度東海選抜大会
☆ラグビー部 準優勝(全国選抜大会出場)
 - ☆平成25年度東海高校総体体育大会
☆ラグビー部 出場
☆バスケットボール部男子 出場
☆空手道競技女子個人組手 出場 2年 角矢まどか
 - ☆平成25年度東海高等学校空手道選手権大会
☆空手道競技女子個人組手 出場 2年 角矢まどか
 - ☆第53回東海卓球選手権大会
☆男子シングルス 出場 2年 瀧田紀
- 【三重県大会・地区大会・その他】
 - ☆平成24年度新人大会等
☆ラグビー部 優勝(東海大会出場)
 - ☆平成25年度三重県高校総体体育大会
☆ラグビー部 準優勝
☆バスケットボール部男子 準優勝
☆バレー部女子 ベスト8
☆ゴルフ部男子団体 6位
☆ゴルフ部女子個人 5位 3年 名和里依
 - ☆空手道競技女子個人組手 準優勝
2年 角矢まどか(東海総体・全国総体出場)
 - ☆第25回三重県ジュニアゴルフ選手権
☆高校生女子の部 優勝 3年 名和里依
 - ☆第40回三重県空手道選手権大会
☆高校生女子個人組手 優勝 2年 角矢まどか
 - ☆第60回NHK杯全国高校放送コンテスト
☆アナウンス部門 最優秀賞 3年 山鹿春奈(全国高校放送コンテスト出場)
 - ☆朗読部門 奨励賞 2年 李 模一
 - ☆テレビドキュメント部門 奨励賞
(米活「My rice」)
 - ☆第58回三重県高等学校演劇大会北勢地区大会
☆演劇部 優良賞
☆平成25年度秋大会・新人大会等
☆空手道競技新人大会女子個人組手 優勝 2年 角矢まどか
☆空手道競技新人大会女子個人組手 優勝 2年 角矢まどか



県総体で対戦する角矢選手、右。



全国選抜ラグビー開会式

アナウンス部門最優秀の山鹿

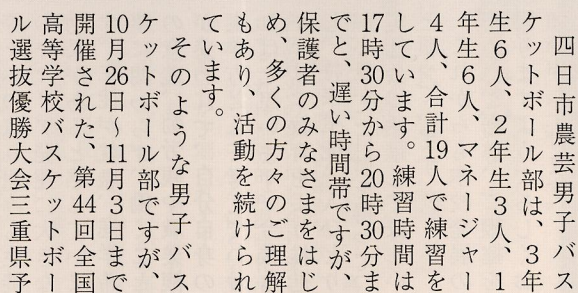


さんさん賞(応援賞)に輝いた野球応援(左)と円陣を組み監督の指示を受ける野球部員

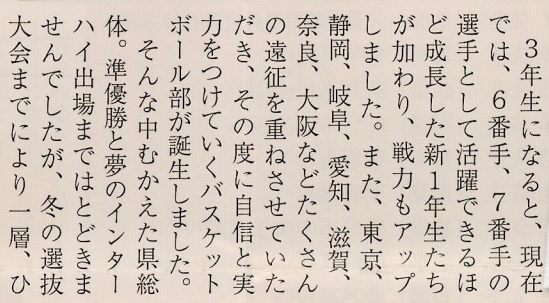


さんさん賞(応援賞)に輝いた野球応援(左)と円陣を組み監督の指示を受ける野球部員

竹村保範



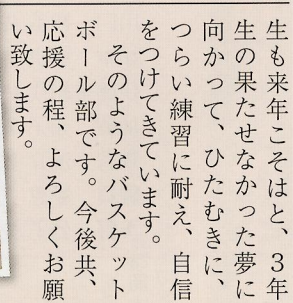
選会に出場してきました。
3年生は全国大会につながる最後の試合であり、四日市農芸高校男子バスケットボール部としても初の全国大会出場権をかけた大会でした。



たむぎに厳しい練習に耐え、全国大会出場を果たすという夢に向かって再始動していく時期になりました。

そして今回の選抜大会。準決勝で延長戦までもつれ込んでしまった、決勝の舞台。勝てば全国大会出場。恐れていた怪我人もなし。部員全員のテンションも気迫もマックス。立ち上がりも上々。しかし、選手層の薄さが露呈してしまいました。決勝まで戦ってきた疲れも加わり、足が止まった隙を突かれて一気に点差を離され、全国大会出場の夢は断たれてしまいました。

しかし、ほとんどの3年生は、大学という新しい舞台でバスケットボールを続けます。1、2年



二一四年連

ラグビー

11月23日の花園予選決
勝戦には、生徒約5000

ラグビー部監督 下村 大介

11月23日の花園予選決勝戦には、生徒約500人・先生方・保護者・卒業生の皆さんを含め約1,000人の大応援団に、心の込もった大声援を頂き本当にありがとうございました。

「今年のチームは新人戦で優勝し、3月に全国選抜に出場したものの、5月に主力選手が怪我をして以来、低迷したままこの決勝戦を迎えました。キックオフ直前の円陣の中では5月に首の大怪我をし、半年振りに準決勝で復帰したものの、その

が」。前半残り10分で大型フォワードに2本押し込まれ、後半は積極的に攻めるものの、俊足バックスに2トライを許し、残り10分で7対26。力関係から考えて、よほど大きく流れを変える切っ掛けが必要でした。ベンチで何度も「出して下さい!!」と言っていた前述の3年生を「無理するな。皆の心に火をつけてこい!」とピッチに送り出しました。予想通り彼は痛みに耐えながら、再三サイド突破しようと前に出ました。

放送部顧問 西村幸子

農芸高校放送部は、「学校のため、地域のため」をモットーに日々活動しています。

活動内容は司会・アナウンスの他、番組作りを中心としています。

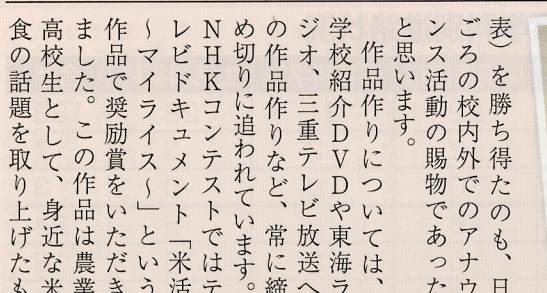
司会・アナウンスに關してですが、学校行事での司会に加えて、今年は10月に行われた生活文化科服飾コースの産業教育フェアでのファッションショーや全国高校ゴルフ選手権、産業教育フェア高校生フォーラムでの司会も引き受けました。人前でアナウンスすることは1年生のうちはかなり緊張があるのでしようが、場数を踏むことで主催者

の方とのやり取りや、突発的なことにも自分たちで判断してスムーズに進められるようになります。

顧問は原稿のチェックや練習に付き合いますが、本番では司会の発した言

業で会が進行するわけで、顧問の出る幕はありません。遠くから見守るだけです。しかし自分たちのこの言葉の一つ一つに責任があること、何事にも落ち着いて対応すること、笑顔で場の雰囲気を作ることなどを、経験によって身につけてつあります。

3年6組の山鹿春奈さんが、NHK高校放送コンテスト三重県大会で最優秀賞（全国大会三重県代

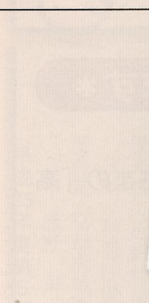


ビュースをしたりと、一生懸命取り組みでいたものの、なかなかテーマを深めることができず苦労していました。また、部員同士連携が上手く取れない時もありました。

他に農芸生の学校生活が少しでも潤いのあるものにできればと、昨年から月に一回の昼休みの校内放送を試みたり、地域の子供たちのために学童保育所での読み聞かせ会なども行っています。また11月に三重県総合文化センターで行われた近畿

活動であると自負しております。しかし一番大切なことは、毎日の活動を通して部員同士ぶつかり合いながら、一つの作品を仕上げたり行事を成功させたりして、「誰かのため」になったと感じとってくれることにあると思います。

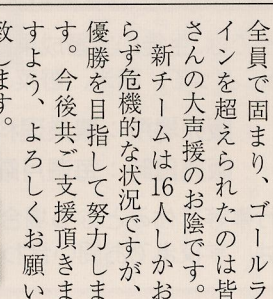
放送部の活動を通して私たちが成長できるのは、日ごろからご協力いただいている保護者の皆様をはじめ、周囲の方々の温かいご支援のおかげです。本当にありがとうございます。



ます。今後とも部員たちがカメラを持って皆様に向けるかもしれません、なにとぞご協力のほどをよろしくお願いたします。

たラグビー部。前夜のミーティング・当日宿舎を出る前に観た先輩達の花園での勇姿・ジャージ（ユニホーム）贈呈式……この日の為に厳しい練習を垂り越えてきたラグビー部員達は、この2日間であつた涙を流しながら、決戦のキックオフを迎えました。

前半20分まで0対0とスコアは動かず拮抗が続きました。しかしフォワードの体格とパワーも、バックスのスピードやテクニクも、明らかに相手



す。今後共ご支援頂きま
すよう、よろしくお願い
致します。

進路指導部より

進路指導部 主任 城 秀教

同窓会員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
昨年度(平成24年度)卒業生の進路状況は、別表のとおりです。
さて、昨年度の就職状況については、リーマンショック後の経済状況悪化による厳しい雇用情勢が続く中、同窓会員の皆様方のお力添えもあり、就職希望者全員が内定をすることができました。本当にありがとうございます。
現3年生においては、昨年よりも就職希望者が増加しており、本校への全体的な求人数は昨年度より増加傾向(約30社増)にあるものの、多く生徒が希望する製造業等の求人数は昨年度より減少し、高校生の就職を巡る状況は依然厳しいままです。
しかし、厳しい就職活動の中、現時点で就職希望者のおよそ9割が内定をいただいています。未内定の生徒もあきらめることなく粘り強く現在も就職活動を続けています。今後とも全ての生徒が卒業までに就職先が決まるよう努力し指導していきたいと思いますので、その際には、同窓会員の皆様方のご支援を賜りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。
昨年度の進学においては、ほとんどがAO入試や推薦入試制度を利用しました。三重大学生物資源学部へ2名の合格をはじめ専門分野へ多く進学しました。ラグビー部等のスポーツ推薦を利用す

る生徒も定着してきています。
今、高校でもキャリア教育に力を入れています。昨年度から2年生全員に職場体験(インターンシップ)を実施しています。同窓会員の皆様の職場でも大変お世話になりました。1年生には、「ようこそ先輩」就職編、進学編を実施し、卒業生に高校時代から現在の仕事に至るまでの経験談を話してもらっています。2年生には、総合的な学習の時間の多くを進路学習に充て、年間計画にそって取り組んでいます。また、専門教科では農業学科での現場研修やチャレンジショップ、家庭学科での現場研修、学童実習、デイスーパービス、高齢者訪問等々への取り組みも生徒のキャリア発達に大きな効果があると感じています。
生徒が就職、進学希望に関わらず、働くことの意義、勤労観や職業観が養われて、自分自身の生き方として考えていければと思います。今後もキャリア教育をより推進し、将来生徒一人ひとりが心豊かに自信を持って、実社会で活躍してほしいと願っています。
これから本校発展のためにご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



平成24年度学科別進路状況

進路先	学科	生産科学科	食品科学科	環境造園科	園芸科学科	生活科学科	合計
就職	事業所	24	28	22	31	28	133
	自営	0	0	2	2	3	7
	公務員	2	1	0	0	0	3
進学	4年制大学	4	5	8	2	5	24
	短大	0	1	0	2	15	18
	専門学校	7	7	3	4	22	43
	各種学校	0	0	0	0	4	4
	その他	0	1	1	1	1	4

平成25年度・人事異動

=ご勇退= 古市 茂 先生 (農業) 再任用ご退職

=転 出= 細川美和子 先生 (家庭) 四日市高校へ
北畠 英司 先生 (農業) 久居農林高校へ
後藤 浩美 先生 (英語) 白子高校へ
今井 幹夫 先生 (農業) 明野高校へ
岩田 礼子 先生 (地歴) 三重県教育委員会高校教育課へ
北山 栄美 先生 (理科) 稲生高校へ
石倉 正浩 先生 (農業) 飯野高校(情報)へ
森岡由美子 先生 (国語) 四日市南高校へ
伊藤 玉啓 先生 (数学) 松坂高校へ
古城 義也 先生 (農業) 明野高校へ
松岡 朋宏 先生 (数学) 四日市中央工業高校へ
坂下 行理 先生 (農業) 明野高校へ
片山あずさ 先生 (養護) 桑名高校へ
西川 貴子 先生 (事務) 三重県庁へ

=転 入= 大淵 努 先生 (国語) 名張西高校より
清水 実華 先生 (地歴) 菰野高校より
松岡 嘉典 先生 (数学) 四日市工業高校より
藤原寿美子 先生 (英語) 四日市西高校より
細野 歩 先生 (家庭) 名張高校より
奥田 毅 先生 (農業) 久居農林高校より
佐藤 裕毅 先生 (農業) 明野高校より
川口 智美 先生 (理科) 稲生高校より
松本 卓也 先生 (農業) 新規採用
伊藤美紀代 先生 (数学) 北星高校より
加藤 元子 先生 (農業) 伊賀白鳳高校より
森谷 洸介 先生 (農業) 久居農林高校より
磯貝 愛恵 先生 (養護) 新規採用
天野 公子 先生 (事務) 桑名農政環境事務所より

事務局からのお知らせ

* 会員、旧職員の皆様へご連絡とお願い *

*改名、転居などにより、氏名・住所・連絡先等が変更になりましたら、同窓会事務局まで必ずご連絡下さい。同封の《異動通知連絡》ハガキをご利用ください。お預かりする個人情報、厳正に同窓会事務局で管理を行い会報発送等に使用いたします。ご協力をお願い致します。

*同窓会又は同窓会事務局の名を騙って、電話等により会員の情報を聞き出そうとする事案が発生しております。同窓会からの電話調査や聞き取りは、一切致しておりませんのでご注意ください。

* 会員のみなさまより会報の原稿を募集しております *

同窓生の皆様より、会報原稿をお寄せ頂いております。
次号会報、原稿も募集しております。会員唯一の情報機関誌へ会員みなさまの「高校時代の思い出、近況報告、写真」等をお寄せ下さい。
(次号会報の原稿締切は、平成26年9月末日です。ぜひ事務局まで。)

三重県立四日市農芸高等学校 同窓会事務局

〒510-0874 四日市市河原田町2847

TEL 059-345-5021(代)

FAX 059-345-6996

ぜひ！ご利用ください

* 農産物 (実習製品) 販売所のご案内 *

農芸高校では、生徒の実習成果による農産物(実習製品)を校内で販売しております。
(季節によって、新米、野菜、卵、草花、観葉植物、ジャム類、味噌など)

販売場所：農業理科棟(新館)1階中央の販売所

販売日時：毎週月曜日と木曜日(午後2時~4時まで)

*学校行事等で休みとなる場合もありますので、お越しの際は、学校ホームページまたは、学校までお問い合わせください。

* 昭栄会(卒業生自営者クラブ)のご紹介 *

本校同窓には、昭栄会という組織があります。
卒業後、農業分野で活躍の皆さんで組織され、農芸祭など学校の活動を支援いただいています。本年度の農芸祭にもトラック何台もの生産物を搬入いただき、生徒たちが勉強しながら販売をさせていただきました。学校教育のためのご支援ご協力、今後共 よろしくお願い致します。

今年度の会員は、18名、役員は、以下の方々です。

顧問：高木 康次(鈴鹿・野菜)
会長：森澤 秀雄(四日市・シクラメン)
副会長：垣見 和孝(鈴鹿・植木)
服部 高経(桑名郡・トマト等)
書記：岡本 文洋(四日市・餅等)
北川 宗義(鈴鹿市・卵)
会計：市川 晃(鈴鹿・お茶)